

伊勢 地域活性化向け栽培



鈴なりに育った横輪芋—いずれも伊勢市横輪町で

特産「横輪芋」
人気で増産中

過疎化と高齢化が進む伊勢市横輪町で、地域活性化のため昨年からの栽培を本格化している特産のヤマイモ「横輪芋」が、生産者の予想を上回る人気を集めている。今年十月末から収穫、地元で販売が始まり、強い粘りと、風味の良さが受けて売れているとか。増産に向け強い風が吹いているが、シカやイノシシの獣害に悩まされ、課題もある。
(大槻宮子)

横輪町は、中山間地 しょうゆとの相性が良 期まで、農薬を使わ はイモの葉を、イノシシ 域にある世帯数三十戸 く、この地域の人たち ず、丁寧に草抜きをし シは穴を掘ってイモを 弱、人口約百人の小さ は短冊形に切ったり、 て育てる。 食べてしまう。獣害対 以上の高齢者は四割を して食べる。地域の田 約二トを見込んでい かつたため、三十株ほ 占める。人口も徐々に 舍みそに入れる、とろ 「毎年倍にして、将来 ど食べられてしまった は十倍の二トにした 農家もある。できるだ い」と委員会の岡惣松 け被害を減らすため、 家の近くに畑を作り、 柵を設置することが必 要と考えている。土地 は十分にある。町民の 協力を得て「地域活性 化のためになんとか増 産したい」と奮闘中 背景にある。

町おこしのため、地 元住民は二〇〇六年、 今年には活性化委員会 会長(△)は力を込め 増産に向け力が入る 要と考えている。土地 輪」をつくり、活動 昨年の倍。 ののは好調な売れ行きが 背景にある。

横輪芋は六十年ほど え「味がよくなる」と 末までに売り切れ、今 産したい」と奮闘中 玉商品と目を付けた。 十月末から始まる収穫 二月から二カ月間ほど 風輪周辺で「収穫感謝

シカに 課題は食害 対策検討



イノシシにイモが食べられ、枯れてしまった茎

試験的にインターネッ 祭」と題し、とろろ汁 ト販売もしたが、県内 の振る舞い(先着五十 や東京、神奈川などの 人、午前十時から整理 横輪芋を知っている人 券配布)やとろろ汁を から注文があり四十キ などを販売。とろろ 汁の作り方の実演や、 一月中旬ごろからやる 地元の保育園児による 予定だが、期限は「な 和太鼓演奏もある。 くなり次第」。数が少 問い合わせは、風輪 ないのがネックだ。シカ 7411へ。 課題は獣害だ。シカ 11電0596(39)1